

安中市・富岡市で発見！「新種のマッコウクジラ類化石」

- ・群馬県から約1550万年前の新種のマッコウクジラが発見されました
- ・新種名(*gunmaensis*)は群馬県に因んで命名されました
- ・化石標本は10月3日～12月13日に県立自然史博物館で特別展示します

1 概要

群馬県安中市及び富岡市で発見された化石が自然史博物館の長谷川善和名誉館長・木村敏之補佐の研究により約1550万年前の新種のマッコウクジラであることを報告する論文が、米国古脊椎動物学会が発行する学術雑誌 Journal of Vertebrate Paleontology に発表されました。マッコウクジラの仲間の新種は県内初、日本では3例目です。

- 学名 *Miophyseter gunmaensis* (マイオフィセター グンマエンシス)
「群馬県で発見された中新世のマッコウクジラ」の意
- 新種のマッコウクジラ類化石 県内初、日本で3例目（長野県・愛知県で各1例）
- 県内での新種のクジラ・イルカ化石の発見
群馬県で5例目（すべて県立自然史博物館の研究によるもの）

2 新種となった化石標本について

産出地	発見年月	発見者	備考
安中市	2011年9月	中島 一氏 (安中市在住)	ほぼ全身が保存された化石標本。新種の基準となった標本(ホロタイプ)。中島氏から県立自然史博物館に寄贈されたもの。下図①
安中市	20年以上前		耳の骨(耳周骨)
富岡市	1994年	森平利政氏 (富岡市・故人)	富岡実業高校前の鍬川より発見。群馬県立自然科学資料館と自然史博物館準備室により発掘。下図②



①安中市より発見された
ほぼ全身が保存された
化石。



②富岡市より発見された化石
椎骨や肋骨、耳周骨(耳の骨)
からなる。

3 問い合わせ先

群馬県立自然史博物館 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1

TEL 0274-60-1200 ホームページ <https://www.gmnh.pref.gunma.jp/>



群馬県立自然史博物館
ホームページ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

